



▲夏だ!プールだ!元気いっぱいシャワーを浴びる子どもたち(大草野小学校)

## 6月議会の ニュースのとびら

### うれしの茶交流館 建設に前進

社会資本整備総合交付金事業の確定により、建設事業がさらに一歩前進

P3

### 議案の賛否 どうなった

それぞれの議案に対する賛否表

P4

### 熊本地震で 臨時議会

被災地支援を議決

P5

### 活発な一般質問

今議会は12名が登壇し活発な論戦を展開

P5  
~13

### 委員会レポート

各常任委員会で市内の各施設を調査

P14  
~15

### 中学生の声

市内中学生の「夢・思い」を掲載

P16

# 一般会計で総額146億8,859万円に

平成28年第2回嬉野市議会定例会は、6月3日に招集され、6月20日まで18日間の日程で開催された。

今議会で提案された議案は、3件の報告並びに専決処分承認を求めることについて1件、利用を停止している嬉野市社会体育館の廃止に伴う条例の一部改正など4件、および、一部事務組合規約の変更について1件、平成28年度補正予算、特別会計補正予算5件の計14件が上程され、慎重に審議を行い、全ての議案を可決した。（賛否表は4ページ参照）

今議会の補正の主なものは、「うれしの茶」生産の歴史を伝える資料を保存・展示する「うれしの茶交流館」建設事業に4億9,524万8千円、また、「認知症対応型グループホーム」新設事業者補助事業に3,758万9千円、肥前吉田焼振興策として若手デザイナーらによる新商品・新デザイン開発に取り組む事業に1,050万円などが計上された。

補正後の総額は前年同期比10・6パーセント増の計上となった。（補正予算の主な事業は3ページを参照）

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計		5億2616万円	146億8859万円
特別会計	国民健康保険	8万円	48億8715万円
	浄化槽事業費	2万円	9070万円
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費	▲9920万円	5億6853万円



▲うれしの茶交流館完成予想パース

うれしの茶交流館建設へ前進

コミュニティ助成事業など

5億2616万円を補正





▲葦筒神社例大祭で披露された東吉田地区浮立

コミュニティ助成事業に

380万円

**問** この助成金はどこから出ているのか。

**答** 財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業である。

**問** 今回の助成金の内容は。

**答** 東吉田区自治会が宮太鼓や笛、提灯などの購入に250万円。両岩区が踊り衣装や着物、踊り笠、神楽鈴などの購入に130万円。いずれも伝承芸能保存のためである。

うれしの茶交流館  
建設事業に

4億9524万円

**問** 当初予算では、今年度造成工事のみの予定だったが。

**答** 社会資本整備交付金が今回認められたので、本体工事まで始めることになった。

**問** 当初の計画より、予算額が膨らんでいるのではないか。

**答** 買収用地が予定より広くなり、農業倉庫の解体費や資材・人件費の高騰が主な要因である。

さが未来スイッチ  
交付金事業に

317万円

**問** 事業の具体的な内容は。

**答** 耕作放棄地有効活用地域活性化事業（塩田地区地域コミュニティ運営協議会）、吉田の自然を生かした地域活性化事業（活き生き吉田会）、川と町並み夢プラン（NPO法人塩田津町並み保存会）、上岩屋区集会場改築事業（上岩屋区）の4事業が佐賀県から採択された。

コンパクトシティ計画  
策定事業に

800万円

**問** 事業の目的は。

**答** 嬉野市地域再生計画に基づき、福祉や交通などを含めて都市全体の構造を見直すものである。

**問** 事業の内容は。

**答** 市民アンケート調査を実施し、基礎データを収集分析して庁舎内作業部会で計画案を策定する。

**問** 計画策定委員会は。 **答** 有識者を交え来年度立ち上げる予定である。

肥前吉田焼・吉田地区  
再生事業に

1050万円

**問** この事業の内容は。

**答** （一社）ふるさと財団の新・地域再生マネージャー事業助成金を活用したものである。

**問** 具体的な事業は。

**答** 肥前吉田焼の産地再生のために、外部コンサルタントと連携して若手デザイナー等による新商

品や新デザイン開発を行う。それにより、雇用創出や流通促進、販路拡大等につなげたい。

夢スポーツ支援事業に

50万円

**問** この事業の内容は。

**答** トップアスリートによる『夢の教室』（講師が自らの体験等を話しながら、ワークショップを行う）を小学5年生対象に実施する。

**問** 委託先は。

**答** 日本サッカー協会のJFAこころのプロジェクト「ユメセン」である。

**問** 講師は誰か。

**答** こちらから指名はできない。

その他の主な補正予算

リバティ用駐車場改修工事	300万円
長寿社会作りソフト事業交付金	170万円
嬉野デザインウィーク事業	2500万円
介護施設等整備事業	3758万円
心にやさしいAED購入費補助事業	46万円
農村公園維持管理事業	106万円
法定外水路浚渫事業	300万円
首長部局等協働構築事業	149万円
文化振興事業	190万円
国際スポーツ、キャンプ誘致推進事業	100万円

# 専決処分や規約を承認

## 嬉野市社会体育館条例を改正

嬉野市社会体育館が老朽化に伴い廃止するための条例の一部を改正。

る放課後児童クラブの支援員について従来の枠に小中一貫校の義務教育学校の資格保有者を追加するための条例の一部改正。

## 杵藤地区広域圏組合規約を変更

杵藤地区広域圏組合（3市4町で構成）では、消防業務、介護保険、葬斎公園、クリーンセンターなど広域な業務を行っている。今回

## 国民健康保険特別会計補正予算の専決処分

平成27年度国保会計に歳入不足が生じるので予算措置として繰り上げ充用を行った。

## 専決処分とは

予算や条例などを首長が議会の議決を行わずに自らの権限で決めること。

緊急時で議会を招集する時間がない場合のほか、議会が議決すべき議案を議決しないといったときでも認めている。

処分後には議会で報告して承認を求めなければならないが、承認を得られなくても決定は有効とされる。



▲老朽化で廃止される社会体育館

# 議案の賛否 どう判断

平成28年6月定例会議案賛否表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	表決数	番号																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議案第52号	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険補正予算)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	嬉野市放課後児童健全育成事業の条例の一部を改正する条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	平成28年度嬉野市一般会計補正予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	平成28年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	平成28年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	平成28年度嬉野市都市計画事業駅周辺特別会計補正予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	平成28年度嬉野市水道会計補正予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



### 12議員が質問

山口 政人 議員 (P6)

森田 明彦 議員 (P6)

芦塚 典子 議員 (P7)

増田 朝子 議員 (P8)

織田 菊男 議員 (P8)

西村 信夫 議員 (P9)

山下 芳郎 議員 (P10)

川内 聖二 議員 (P10)

辻 浩一 議員 (P11)

梶原 睦也 議員 (P12)

生田 健児 議員 (P12)

山口 要 議員 (P13)

### お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放送  
・有線テレビ放送  
(放送については議会事務局にお尋ねください)

次ページは  
一般質問

# 市政を問う

6月議会

## 熊本地震で

# 臨時議会

5月16日に臨時議会が開催され、熊本地震発生直後の支援策の専決処分の承認とさらなる支援の補正予算を議決した。  
4月18日に補正予算第2号888万円が専決処分され、いち早く対応がなされた。さらに、5月16日補正予算第3号で追加支援として865万円が計上された。

**熊本地震支援に  
1753万円**

**問** 事業の目的は。  
**答** 熊本震災の被災地の早期復興支援と嬉野市へ避難してられた方への支援事業。  
**問** 具体的な内容は。  
**答** 左記の支援をした。  
■市職員の派遣  
■嬉野の水など備蓄している物品や手に入らない物品を購入して提供

■湯豆腐・足湯の提供  
■市民ボランティアを募り現地までバス送迎し支援活動  
■仮設住宅入居者へ肥前吉田焼茶器セット・うれしの茶の配布  
■本市へ避難された世帯へ住宅の入居助成及び避難生活の援助など  
**問** いつまで行うのか。  
**答** 現地の状況を受けて判断する。



▲震災で被災した西原村の情景



▲水防警戒に必要なため池

# た

## め池の緊急点検は

**答** 県が実施をしている

山口政人議員



**山口** ため池の緊急点検を実施する必要があるが、

ため池の緊急点検

**市長** 県が一斉点検をしている。水防警戒を要するため池は市内に39カ所ある。

**山口** 耐震性の調査もしているということだが、

**農林課長** 39カ所の内、

1カ所実施しているが、順次実施していきたい。

### 日本遺産認定の展開は

**山口** 志田焼の里博物館等が日本遺産に認定されたが、今後どのような展開を考えているか。

**市長** それぞれの地域で特性があるので、協議会の中で取り組んでいきたい。

### 商品券の経済効果は

**山口** 経済効果はどうかであったか。

**市長** 中小の小売店でも多く使用され、市内の経済活性化に寄与できた。

**山口** 今後、商品券を発行する場合は、子育て世帯に何割、あるいは全世帯に引換券をやるとか、公平に購入できる方法はできないか。

### うれしの温泉観光課長

前回は優先的配布ができなかったため、今後研究してみたい。

### 公共下水道事業の今後は

**山口** 長期間に及び総事業費201億円にもなる公共下水道事業は現実的ではない。市営合併浄化槽に切り替えてはどうか。

**市長** 財政状況や長期間を要するため、基本計画を見直し、公共下水道整備区域の変更を検討している。

### チャイムの変更を

**山口** 防災行政無線による朝・昼・夕方のチャイムを元の曲に戻す考えはないか。

**市長** いろいろな意見もあるが、市歌でもあるので使用していきたい。

### 職員のボランティア活動について

**山口** 今回のお茶摘みのボランティア活動には違和感があるが。

**市長** 職員である前に市民であるので、要請があり、協力すべきと判断したときは参加する。

## 地域防災計画を見直せ

森田明彦 議員

地

**答** 検討を加え見直しを



**森田** 熊本で震度7、更に1回目を上回るマグニチュード(M)7.3の本震が発生したが、嬉野市では震度はどのくらいを想定しているか。

**市長** 県は川久保断層系で最悪の事態の発生規模はM6.8を想定される。その際の本市における規模は一部震度5強で、その他は4以下と想定。また、影響が一番大きいと想定されるのが大村諫早付近の断層帯でM7.1を想定。隣接する山間部で震度6弱、その他は5弱以下と予想しているが、地表では確認できない伏在断層の存在は否定できず、大地震発生の可能性もゼロではない。

**森田** 観光地であることから、観光客、特に近年の外国人観光客の方に対する避難計画等は万全であるか。

**市長** 観光地として、関連施設及び関係団体と連携し、適切な避難誘導と災害時対応に勤める。また、28年度防災計画については熊本地震で明らかになった課題に検討を加え、見直しを実施する。

### 18歳選挙権年齢の引き下げの考えは

**森田** 引き下げの要因や背景は何と考えるか。

**市長** 世界全体の92%の国々が18歳であり、世界の流れに沿ったものであると考える。

**森田** 当市での18歳、



# 雨 量500ミリを 観測したら

芦塚典子 議員

## 答 防災計画を見直していく



**芦塚** 関東・東北豪雨では、24時間雨量500ミリ以上を観測している。当市で観測したら、どのような対策をとられるか。

**市長** 最近の集中豪雨の状況から防災計画の見直しを考えている。災害対策本部を設置し、早急

に避難体制を作っていく。

**芦塚** 北関東豪雨では、河川の堤防決壊・越水等発生している。河川の越水等の氾濫シミュレーションを想定されているか。

**総務課長** 現在治水工事等は終了し、平成2年から大きな災害が発生していないので行っていない。

**芦塚** 河川の決壊危惧箇所はないか。

**総務課長** 決壊危惧箇所はない。土砂崩れが想定される場所を防災パトロールで巡回した。

**芦塚** 今後は500〜600ミリの雨量を想定した堤防の強度等を県と協議する必要があるのでは。

**建設・新幹線課長** 想定外の雨量を記録する時代であり、県と十分協議していく。

**芦塚** 北関東豪雨では、排水機場が水没し、ポンプ4機が停止している。市内のポンプ場は。

**農林課長** 浸水する可能性はある。

**芦塚** ポンプ場の耐水



▲大雨で増水した塩田川

化はできているか。

**農林課長** 耐水化はできていない。

**芦塚** 災害時のタイムライン（事前防災行動計画）及び※BCPなどを中核とした地域防災計画を立て直す必要があるのではないか。

**市長** 全般的な災害対策を見直す必要がある。

### 地震対策は

**芦塚** 西葉（さえ）断層による被害はあるか。

**市長** 震度6強を想定している。

**芦塚** 大村―諫早北西付近断層の地震の想定は。

**総務課長** 震度5〜6弱で被害額はできていない。

**芦塚** 耐震改修促進計画はできているか。

**総務課長** 早急に策定する計画である。

**※BCP（事業継続計画）とは**

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃など緊急事態に遭遇した場合、早期復旧を可能にするため、平常時に事業継続のための方法を決めておく計画

19歳の有権者数は。

**選管事務局長** 18歳、19歳の合計は555名。

**森田** 投票率を上げる対策は講じているか。

**選管事務局長** 市内2つの高校と協力を図り、

期日前投票の有効利用の周知と啓発を行なう。

### 今後の塩田津伝建地区の整備は

**森田** 今後の整備計画及び、整備することの最終目標は。

**教育長** 伝建事業の期間については制度が継続する限り行う。また、この保存計画は住民の総意と発意を尊重し、維持してきた歴史や文化、伝統・文化的景観の保存と、住民の生活環境の向上に資する事を目的としている。



▲想定外の震災にあった西原村の情景

# 放 課後児童クラブの 部屋の確保を

増田朝子 議員

答 できることは配慮したい



**増田** 25・26・27年度の3カ年の放課後児童クラブ児童利用状況をどう分析するか。

**子育て支援課長** 登録児童数と実際の利用児童数に開きがある。国の指針で1・65平方メートル、1クラスおおむね40人以内の基準を超過しているクラブがあることは認識している。

**増田** 昨年度策定された「嬉野市子ども・子育て支援計画書」にある放課後健全育成事業の量の見込みで、計画より数が大幅に増えているが、どう考えるか。

**子育て支援課長** 少し見込みが甘かった。今後、毎年1回見直し作業を行う。

**増田** 五町田小児童クラブは73名で非常に多い。部屋の確保の協力をお願いしたい。

**教育長** 学校の子どもたちなので、できる事は配慮し、夏休みについては前向きに検討したい。

**増田** 支援員の確保を維持するためには。

**子育て支援課長** 今後、他に流出しないためにも処遇改善などが必要と考える。

**増田** 今の処遇を市長はどう思われるか。

**市長** 市としては精一杯やっけてきている。

**ボランティアの対応は**

**増田** うれしの茶手摘みにおける市職員へのボ



▲老朽化した嬉野公民館

# 公 共建築物の 老朽化対策は

織田菊男 議員

答 対策は行っている



**織田** 公共建築物の老朽化の現状はどのようになっているのか。

**市長** 現在策定中の公共施設等総合管理計画の対象施設121施設のうち、築30年以上の施設が

約4割、40年以上経過した施設は約3割を占めている。

**織田** 公共施設の現状での改修や修理、また、今後の対応はどうするのか。

**市長** これまでは施設の大規模改修については不都合発生後に対応していた。今後は公共施設等総合管理計画に沿って、施設の長寿命化を図り計画的な維持管理に努める。

**織田** 修理費や改修費の財源は十分か。

**市長** 今後全ての施設を建てることは財政的に厳しい。施設の統廃合や長寿命化により財政負担の軽減を図る。

**織田** 老朽化の判断基準はどうなっているのか。

**市長** 建築基準法の改定が昭和56年にあり、耐震の基準が変わった。昭和56年以前の建築物は耐震の診断が必要で、対象になる施設は嬉野庁舎と嬉野庁舎の第二庁舎の東側の庁舎、塩田の中央公民館、公会堂、体育館が

対象になる。

**織田** 市内の小中学校の耐震を行っていると思うが、どうなったのか。

**建設・新幹線課長** 市内の小・中学校はほぼ補強工事が済み、塩田の谷所分校1校ができていない。現在、市内の体育館のつり天井になっている部分の耐震の改修工事を行っている。

**織田** 公共建築物の老朽化対策は財源手当てができるのか。

**市長** 今後、いろいろの改修が出てくると思うが、すべて立て直すことは現実的には不可能と思う。統合とか縮小等含めて財政的に負担が掛からないような方法をとっていかなくてはならないと思う。

**織田** 予防保全についての考えは。

**財政課長** 予防保全に対して、市もいろいろな事業を行っている。急傾斜地の破壊防止事業、落石対策、橋梁については長寿命化の工事など行なっている。



ランテニア要請に至る経緯は。

**市長** 全国茶品評会農林水産大臣賞奪還のため、清水茶業組合が手摘みを決定し、市へ協力依頼があった。

**増田** 市職員は何人参加されたか。

**うれしの茶振興課長** 41名参加した。

**増田** 組合から依頼があった時に協議をしたか。

**市長** 政策会議で決まった。

**増田** 一お茶業界へのボランテニアは市民に対して公平性に欠けるのでは。

**市長** あくまでもボランテニアで強制はしていない。これまで観光協会や商工会の行事には手伝っている。今後とも要請があり、時間があれば手伝う。

**その他**

「女性の活躍について」



▲利用者が多い放課後児童クラブ

**防** 災計画の見直しは  
西村信夫 議員

**答** 震度7の地震対策で検討



ンフラ復旧などに支障が出る。庁舎の耐震化計画はどうするのか。

**市長** 庁舎の強度は確保していると考えますが、耐震診断を実施しないとわからない。検討委員会を設置して耐震化について検討する。

**西村** 市内のホテルや旅館など不特定多数の者が利用する建築物の耐震化はどうなっているか。

**市長** 大規模建築物のホテルや旅館は耐震診断が義務化され、対象となるホテルも昨年度までに耐震診断が終わり、29年度より改修工事の予定になっている。

**西村** 本市の水道施設の耐震化はどのようになっているのか。

**環境水道課長** 清水浄水場の3施設を29年度に耐震補強工事の計画をしている。

**嬉野市特定事業主行動計画について**

**西村** 平成22年度末までの特定事業主行動計画と28年度策定版の主な変



▲熊本地震で全壊した住宅

更点を示せ。

**市長** 男性の育児休業の促進と女性職員のキャリア形成の支援や活躍の支援など、仕事と子育てが両立し実行力のあるものとする。

**西村** 特定事業主行動計画を職員や非常勤職員への周知の徹底には活用しやすい職場環境の雰囲気づくりが重要である。管理職への啓発の取り組みを具体的に示せ。

**総務課長** 4月にホー

ムページに記載し、職員には新着情報で周知を図っている。今後は計画の趣旨等を説明し実行していく。

**所有者不明農地について**

**西村** 全国的に特定できない農地が増えていくが本市の現状と対策は。

**市長** 本市ではまだ不明農地は把握していない。



▲嬉野小学校跡地の完成予想パース

# Q

## どもセンターを 嬉野小学校跡地に

山下芳郎 議員

答 幅広く聞き、検討する



**山下** 市長の政策にあることもセンターの進捗状況は。  
**市長** 平成27年から5カ年計画である。昨年と本年は先進地等視察で情報収集し、課題を整理する。

**山下** 少子化の流れは速い。早急に取り組む必要があると思うが、どうか。

**市長** 情報を一元化し、政策会議で方向性を出した。

**山下** 子育て関連のそれぞれの機関をワンフロアにまとめたワンストップ化の連携が必要と思う。

そのために、嬉野小学校跡地の活用を考えては。

**市長** 幅広く意見を聞きながら、市の施設の再整備も含め協議していく。

### 中山間地農道の補修を

**山下** 中山間地の農道が荒れている。地域（面）での補助金の運用を農道（線）にも利用できないか。

**農林課長** 計画の変更もあり得るので相談に応じる。

**山下** 嬉野地区の法人化への移行は共同乾燥施設単位でまとまることで効果が出るのではないか。

**市長** その組織や地域で協議し、次のステップへ進んでいただきたい。

### 核のゴミ最終処分は

**山下** 原発の再稼働が議論されているが、市長の考えは。

**市長** 再稼働は反対である。

**山下** 原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）の最終処分方法が決まっていない。エネルギー問題は重要であり、処分方法を国が責任をもって決めないと原発の再稼働はないと思う。政府に早急な対応を要望の考えはないか。

**市長** 県内の関連自治体の組織で発言していきたい。

### ドローンの有効活用を

**山下** ドローンの活用は震災地などの防災対応や山間部の輸送、測量など効果が出ているが、各部署での活用はどうか。

**市長** プライバシーの問題などあるが、確認したうえで取り組む必要があると思う。

# 新 幹線の防音壁を透明化に

川内聖二 議員

答 要望をしている



3メートル程と聞いていますが、全部を透明板にと要望したか。

**建設・新幹線課長** 見える区間全てを透明板で要望している。

### 荒天時の通学どう対応

**川内** 台風や大雨、そして大雪の荒天のときは、どのような防災対策をおこなっているか。

**教育長** 児童・生徒の安全の確保については、さまざまな情報を取り入れ、特に自然災害の台風や大雪については、事前に情報をいただき早目の対応をしている。

**川内** 学校側の通信網まち comiメール（マチコミメール）を学校側と保護者だけでなく市民にも周知できないか。

**教育長** 一般的な情報は行政のシステムを利用してもらいたい。学校からの情報発信がマチコミメールのスタイルである。

### 川内 防音壁の高さが、

延長は 公衆無線 LAN の



# 嬉野庁舎の今後の対応は

辻 浩一 議員

## 答 委員会で検討していく



**辻** 長期的に二つの庁舎なのか、また、統合を考えているのか。  
**市長** しばらくは現在の形で、国の支援を得ながら検討できればと思う。  
**辻** 調査の結果、建て替えとなれば、統合すべきではないか。

**辻** 支援物資の保管場所として、民間の倉庫などと協定を結ぶべきではないか。  
**総務企画部長** 民間の空き倉庫は十分活用できるので検討したい。  
**辻** 罹災証明書の発行手続きはどうなっているのか。  
**総務課長** 証明書交付の申請を受け、被災の調査をし、確認できた上で交付を行なう。  
**辻** 確認作業を行う職員は専門知識が必要ではないか。  
**総務課長** 現在安心・安全グループの職員が行なっているが、今後は固定資産家屋評価の経験者の職員が対応すべきと考える。

**辻** 仮設住宅の予定地は確保しているのか。  
**総務課長** 具体的に想定していないが、公園や学校のグラウンドを短期間であれば利用できると思う。  
**辻** 各地域に、候補地をリストアップし地権者と協定を結んでおく必要があるのではないか。  
**総務課長** 今後そういう場所を把握し協定が結べれば良いと思う。

**辻** 市道山口殿ノ木場線は災害時の避難道路を確保するために、東部林道と結んでおく必要があるのではないか。  
**市長** 相当の費用と時間がかかるので、早めのお知らせをし、避難をして頂きたいと思う。

### 地域コミュニティの運営費について

**辻** 予算執行に当たり事業費の繰り越しはできないか。  
**市長** 現在、単年度決算となっているので今後勉強をしたい。



▲今後どうなる嬉野庁舎

**川内** 現在の美肌Wi-Fiの利用時間は、朝6時から夜10時までで、利用時間が短いところもあるのではないか。  
**市長** エリア内であれば誰でも利用可能であるため、公安上および通信業者の民営圧迫を考慮し延長は考えていない。

**川内** 利用時間の延長で費用は大きく変わるか。  
**企画政策課長** 利用時間延長による費用の増加はない。

**川内** 費用が変わらなければ延長できないか。  
**市長** 一応研究させていただきたい。

**川内** 広川原キャンプ場は、電話も繋がりにくいので利用時間の延長を検討して貰いたい。  
**市長** 広川原キャンプ場についても、研究していきたい。



▲透明板での施工を望む防音壁

# 各種審議会等に 若者枠を

梶原睦也 議員



**答** 非常に興味深い提案であり研究したい

**梶原** 選挙権が20歳以上から18歳以上となったがその理由についてどう考えるか。

**市長** 世界レベルに合わせたのだと思う。

**梶原** 近年の投票率を見ていくと、20代の低投票率が顕著であるが。

**市長** 嬉野市では、新たに500人近くの方が投票権を得られたわけ

で、是非行使をして頂きたい。

**梶原** 先日、塩田工業高校で弁護士を講師に招き、18歳選挙権についての勉強会があった。こういった教育現場での政治教育も必要ではないか。

**市長** 学校で模擬投票などの取り組みをしている学校もある。いろいろな機関で研究していただければと思っている。

**梶原** いずれにしても高齢化の中、どうしても若者の政治的影響力は低下していく。このままでは非常にアンバランスな市政になるのではないか。

**市長** 危惧されているとおりだ。

**梶原** 平成22年の子ども・若者育成支援推進大綱には、若者が市の政策形成過程に関し、審議会等委員に若者枠を設ける者の意見を取り入れるべきとの項目がある。是非本市でも導入すべきではないかと考えるが。

**市長** 審議会委員の枠の配分については非常に興味深い提案であり、研



▲景観保全で考えていきたい太陽光パネル

# 景観保全

研究していききたい

生田健児 議員



と考えている。条例の制定についてはまだ少ない状況なので、研究をしていきたい。

**生田** 現在、嬉野市で太陽光パネル設置についての規制はあるのか。

**建設・新幹線課長** 景観的な問題や、建築基準法上でのパネル設置等についての規制はない。

**生田** 一度作ってしまったら20年間は引きずるので、嬉野市独自に規制を考えてはどうか。

**市長** 情報を集め、先進地区等があれば参考にしたい。

商工会との関わりはどうか

**生田** プレミアム商品券の販売場所や販売期間等は、市と商工会どちらが決めたのか。

**産業建設部長** 協議して決めている。

**生田** 以前のプレミアム商品券の販売拠点は多かったようだが、なぜ、ゆっつらくん商品券は二カ所だったのか。遠方の方やお年寄り、体の不自

由な方は買いにいけない状況で、非常に不平等ではないか。

**産業建設部長** 研究していきたい。

**生田** 限度額以上に購入された問題については。

**うれしの温泉観光課長** 完全にチェックは出来ていない状況である。

**生田** かつての商工会館(嬉野事務所)を取り壊す前に、ソフト産業の企業誘致等に、嬉野事務所を補修なりして活用できなかったのか。市から商工会に何かアプローチされたのか。

**市長** 老朽化が激しく、早く取り壊したほうが良いという判断をされた。

観光の情報発信を

**生田** 佐賀県の観光PRにおいて嬉野温泉が出てこず、武雄温泉の楼門ばかり出ている。県との関係性についてはどうか。

**市長** 県と連携をとってやっている。



究をしていきたい。

**梶原** 子ども議会や若者会議も政策形成過程への参画という面では有用な取り組みではないか。

**市長** ぜひ取り組みたい。若い人たちが集まって、いろいろな意見を出してそれが市政に反映でき街が変わっていいければ、今回の選挙年齢の引き下げについても大きな成果となると考える。

### 防災について

**梶原** 以前の議会会で、罹災証明書がスムーズに発行できるよう地方自治情報センター（L A S D E C）で開発された被災者支援システムを導入するよう提案したが。

**市長** 今回の熊本地震に対する対応をみて導入するよう勉強する。



▲ドリームハンズでの子ども議会

## 観 光客の取り戻し 対策は

山口 要 議員

### 答 早めに予算等をお願いする



**山口** 本市の観光業は今回の地震によって様々な影響を受けている。観光客を取り戻す対策が必要だ。今後の取り組みは、  
**市長** 国、県の施策や情報をしっかりと把握しながら、早めに予算等もお願いをし、観光業界の皆さんと一緒に頑張っていききたいと思う。  
**山口** 観光協会や旅館

組合の方々から要望を聞く協議会を開催しては。  
**市長** 国の方針、予算が確定したら、すぐ観光業界の方々と協議をする。

### 災害時対策どうする

**山口** 災害時の対策ということでは、以前に提案をしたBCP（事業継続計画）について、現状での対応はどうしているか。  
**市長** 現在策定中であるが、今回の熊本地震を受けて策定内容を見直しているところだ。

**山口** その見直しは、いつ頃までの予定か。  
**総務課長** 県とも引き続き連携をして情報を得ながら見直していききたい。

**山口** 災害時の備蓄については、どのような状況になっているか。  
**総務課長** 備蓄品についてはまだ十分というところまで行っていない状況なので、ここ数年かけて備蓄を行っていく予定だ。  
**山口** 仮設住宅の建設候補地を確保しておく必

要がある。どう考えるか。  
**市長** 大量に建てられるような敷地を想定しておくことは非常に大事だと考えるので、今後早く研究をしていきたい。



▲観光客で賑わう湯宿広場

**山口** 食品ロスは大きな問題だ。そこで、佐賀市や松本市で行われている30・10（さんまる・いちまる）運動に取り組んでいく考えはないか。  
**市長** 各旅館等ですば

### 30・10運動に取り組め

**山口** 子どもの貧困実態調査に取り組むべきだ。  
**市長** 予算組みをして対応していきたい。  
**山口** 子ども条例の制定も必要ではないか。  
**市長** 制定に向けて努力していきたい。

### 子どもの貧困対策は

らしい料理を出されるわけなので、しっかりと食べてもらうためにも、いい運動だと考えるので取り組んでみたい。

# 市内施設を調査

## 委員会レポート

### 市が所有する施設を視察

#### 総務企画 常任委員会



▲東公園を視察する総務企画委員

#### 委員会報告とは

定例議会最終日に調査課題を提案して、各委員会はその付託案件について、議会の休会中に視察・調査を実施します。その結果を次の議会に委員会報告として上程し、質疑応答後、承認を行うこととなります。

#### 調査理由

嬉野市が所有する市内農村公園や都市公園の現状と課題を調査するため左記の公園を視察した。  
（西山農村公園・牛坂農村公園・谷所農村公園・皿屋公園・西公園・轟の滝公園・川端公園・東公園・籠原公園）

#### 委員会の意見

牛坂農村公園については、集落から距離があり、坂道である事と駐車場が少ない事などから利用がなされてないようであり、グラウンド面もイノシシの被害があり使用できる状況ではなく、管理もされていない。今後の利用や管理について地元と協議し、防犯の観点からトイレについては撤去も検討すべきである。

それぞれ課題はあるが、牛坂農村公園以外は概ね適正な管理がなされていた。ただ、除草に関しては市民からの意見も多いと思うので適期での管理を求める。農村公園・都市公園建設時の財源や管理の手法が異なるので、将来的に条件が整えば遊具などの管理を含め、一元管理が必要ではないかと考える。

### 常任委員会の構成と担当

産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務企画常任委員会
委員長 大島恒典	委員長 山口忠孝	委員長 辻 浩一
副委員長 山下芳郎	副委員長 田中平一郎	副委員長 芦塚典子
田口好秋	山口 要	田中政司
織田菊男	西村信夫	山口政人
宮崎良平	梶原睦也	増田朝子
生田健児	森田明彦	川内聖二
・建設関係 ・農林関係 ・環境衛生関係 ・産業関係 ・環境水道事業	・健康福祉関係 ・学校教育 ・文化財 ・コミュニティ関係 ・文化・スポーツ振興	・総務関係 ・財政関係 ・企業誘致関係 ・消防関係 ・社会教育 ・商工観光関係



# 動く



▲大草野小で説明を受ける文教福祉委員

## 文教福祉 常任委員会

### 学校施設を調査

市内の小中学校施設の  
営繕費は一括して予算化  
されているが、具体的に  
個々の学校がどのような  
問題を抱えているのか、  
現地の視察を行い調査を  
行った。

#### 委員会の意見

今回、教育部長も同  
行して感じたことは、

見た目は耐震工事がされ  
ても不具合はないよう  
だが、仔細に見ていくと  
様々な問題を多く抱えて  
いるようだった。  
学校現場からは多くの  
改善要望をなされている  
が、なかなか要望通りに  
対応されていないのが現  
状であった。限られた予  
算の中で、どこを優先的  
にやっていくのが問題

になるが、子どもたちの  
安全を第一に考えるのが  
得策だと考える。  
学校は、子どもたちの  
教育施設だけでなく、地  
域コミュニティの場所や  
災害時の避難所として期  
待されている。このよう  
な観点から今後の整備や  
予算の配分について見直  
す時期に來ていると思わ  
れる。  
また、プール補修の問  
題は、どの学校からも聞  
かれたが、教育のどこに  
力点を置くのか今後問わ  
れてくると考える。

## 産業建設 常任委員会

### 下水道事業を調査

現在嬉野市では、生活  
排水処理施設整備構想の  
見直しが進んでいる状況  
で、下水道事業について  
現状の調査を行った。

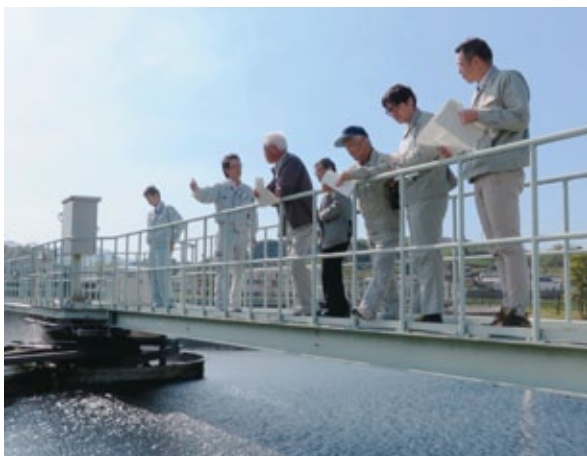
#### 委員会の意見

国の方針では、生活排  
水処理施設の未整備地区  
で、およそ10年を用途  
に計画の策定が求めら  
れ、すでに整備された地

区では、長期的な観点か  
らの効率的な改築・更新  
や運営手法の検討が求め  
られている。背景にある  
のは、急速に進んでいる  
人口減少問題や今回の熊  
本地震・新潟県中越地震  
などの災害時に見られる  
下水道施設の被災の問題  
である。  
地震での異常原因は、  
地盤の液化化による離管  
であり復旧には相当の時

間がかかる。個別処理の  
浄化槽は、被害がほとん  
ど見られず早期の復旧が  
可能である。  
当市においても認可地  
区の整備は進められてい  
るが、極力管路の延長を  
控え合併処理浄化槽事業  
を推進していくべきと考  
える。

また、下水道事業での  
使用料の適正化について  
は、大口利用者への対策  
や市民への公平性を保つ  
ためにも速やかな料金改  
正を行うべきである。



▲嬉野浄化センターを調査する産業建設委員

次回のテーマは下表です。調査レポートは  
9月議会号に掲載します。

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	観光施策の取り組みについて
文教福祉常任委員会	健康づくりの取り組みについて
産業建設常任委員会	農業問題について

# 永年議員で表彰

**全国市議会  
議長表彰で  
3名が受賞**

嬉野市議会の3名が永年議員として全国市議会議長表彰を受賞されました。

在籍年数15年以上で西村信夫議員、10年以上で梶原睦也議員と大島恒典議員の3名が表彰されました。  
今後ますます活躍されますことを期待します。



**中学生の声**  
**平和への思い**  
嬉野市立塩田中学校  
森 史織

私たちは、6月22～24日に修学旅行で広島を訪れました。修学力スローガン「LET'S TRY A NEW CHALLENGE!!」のもと平和学習を中心に新しいことを多く学び、深く考えることのできる3日間でした。

平和記念資料館を訪れ、平和講話を聞き、平和式典を行ったことで平和への思いがより強くなったと感じます。

資料館で見た当時の物や壁は、想像していた恐ろしさを越え、ずっと頭の中に残り続けるように感じました。平和講話では被爆体験者の方から被爆時の様子を一つ一つ話していただきました。

平和式典では各クラスや学年全体で平和宣言や千羽鶴の奉納を行いました。

平和宣言で、私たちは「同じあやまちを二度とくり返さない、思いやる気持ちを忘れない、みんなが安心して笑顔で過ごせる日々をつくる」ということなどを宣言しました。この時、私は宣言したことを現実にしなければならないと、今、心に誓いました。思いやりを忘れないことなど今からできることだと気付いたからです。

私は、この平和学習を通して安心して過ごさせている毎日の日々は当たり前ではないということをお忘れずに過ごしていきたいと改めて思いました。

自分たちでこれからの平和をつくりつなげていきたいです。



▲表彰された3氏

嬉野市政10周年を記念して、嬉野市森林・林業活性化促進議員連盟事業で4月14日にみゆき公園記念植樹広場にしだれ桜の植樹をしました。

これまでも広川原キャン

## しだれ桜を記念植樹

プ場や志田焼の里博物館に記念植樹をしています。

この連盟は嬉野市議会議員全員より活動資金を募って、森林・林業を活性化促進し国土の保全、水資源の涵養など推進し、市民生活の潤いや安らぎを目的としながら記念植樹や研修視察を行っています。

このゾーンは市民の記念植樹ができる場所として確保されていますので市民の方々も、みゆき公園を楽しんでもらえたら幸いです。



▲植樹した後の記念写真

### 議会広報編集特別委員会

委員長	山下芳郎
副委員長	山口忠孝
委員	山口要
	織田菊男
	芦塚典子
	森田明彦
	川内聖二
	生田健児

申し上げる。  
(忠孝)

去る6月5日、学生時代の恩師夫妻を偲ぶ会に(於京都)出席してきた▼数十年の時を経て、議員になってからも先生ご夫妻の晩年にお付き合いですることができたのは幸運であった。縁とは不思議なものである▼限られてはいるが、今の時代を生きるみなさんとは同じ時間(時代)を共有している。この小さな街でみなさんと一緒に暮らしているのも偶然である。この縁を大切にして、現代の分業社会で自分の存在が何かしら役に立つよう努力したい▼幽明境を異にされた先生や奥様からそんな思いを諭された気がする。お金では買えない時間や人を手に入れたこの僥倖に感謝

### コラム